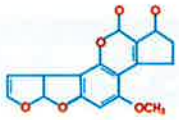


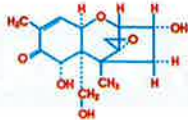
Microbond

マイクロボンド 混合飼料 20kg

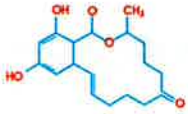
PROBIOTICS



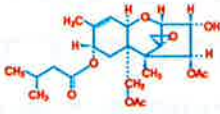
Aflatoxin B1



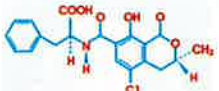
Vomitoxin



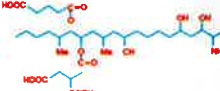
Zearalenone



T-2 Toxin



Ochratoxin A



Fumonisin



株式会社

ISDA



CENZONE TECH, INC
SAN MARCOS, CA USA



Microbond

マイクロボンド 混合飼料 20kg

PROBIOTICS

マイコトキシンは農場経営に影響（損失）を与えています

あなたはどれくらいマイコトキシンを真剣に捉えていますか？

タンク、飼槽の目に見えるカビ、目に見えない飼料中のマイコトキシン…、
マイコトキシンによる飼料汚染は想像以上に身近な問題です！

マイコトキシンによる影響を認識しましょう

様々なカビが様々な種類のマイコトキシンを産生し、現在ではおよそ500種類のマイコトキシンが発見されています。しかし、未知の物も含めると2000種以上のマイコトキシンが存在するのではないかと予想されています。マイコトキシンの種類によって発癌性、肝毒性、消化器障害、循環器障害、免疫機能障害など家畜への影響は様々であり、また複数のマイコトキシンが同時に家畜の健康に影響を与えている場合が多く、より問題を複雑にしています。

マイコトキシンが「見えない泥棒」とよく表現され、その影響が明らかな兆候として認められないことがあるように、急性例や高レベルな汚染の場合を除いてマイコトキシンの影響は多くの場合あいまいな兆候として現れます。例えばワクチンや抗生物質、その他の治療効果が減少する、個体間におけるマイコトキシンへの感受性の違いから生産成績がばらついたり、原因不明の低受胎率や流産などの繁殖障害、レイヤーでは黄身や卵殻の色調の変化などとして現れる場合があります。

マイコトキシンはカビによって産生されるものですが、肉眼で飼料中にカビが見られないからといってマイコトキシンの影響を全く否定することはできません。マイコトキシンにはアフラトキシンなどのように極めて微量で影響を与えるものなど様々な種類が存在し、またマイコトキシンは飼料中に均一に分布しているわけではないので飼料の分析により汚染状況を判断するのも簡単ではありません。

最も安全で確実なことは、適切に取り扱われたカビに汚染されていない飼料を使用することです。しかし、飼料作物の大部分を海外からの輸入に依存している日本の場合、諸外国と比較して海上輸送中における飼料へのマイコトキシン汚染が指摘されています。また、マイコトキシンは必ずしも飼料中に存在するとは限りません。敷料、飼槽、餌のタンクやパイプライン、家畜が口にする機会のあるものすべてがマイコトキシンを疑う対象となります。しかし何よりも重要な事は、飼料を取り扱う生産現場でマイコトキシンの危険性に対する認識を持ち、少しでもカビによる汚染を防ぐ努力が必要です。

品質の悪い粗飼料を与えないこと、配合飼料中に混ざった凝塊した餌をこまめに取り除く努力、飼槽やタンクの定期的なチェックと清掃、防カビ剤の使用などの日常の努力でマイコトキシンの影響から家畜を守ることが必要ですが、たとえそうした日常的な努力を続けていてもマイコトキシンの影響が疑われた場合、安全で信頼できる**マイクロボンド**の使用をお勧めします。



マイクロボンドとはいったいどのようなものですか？

マイクロボンドとは従来家畜の飼料に使われている鉱物系吸着剤と酵母系吸着剤の両方の特徴を併せ持つ、最新のバイオテクノロジーが駆使された全く新しいマイコトキシン対策を目的とした混合飼料です。**マイクロボンド**に配合された酵母・真菌細胞壁と鉱物系吸着物質がマイコトキシンを効率よく吸着するだけでなく、**マイクロボンド**に採用されたマルチモジュラーシステムによって飼料そのものの栄養源を最大限に引き出します。つまり、**マイクロボンド**は飼料におけるマイコトキシンの影響を抑えるだけでなく、健康な家畜生産も手助けします。

マイクロボンドは天然由来の原料のみが使用されている全く安全な混合飼料です。出荷制限、残留問題、耐性菌発生の危険のない安心して使用できる天然の混合飼料で、飼料への添加量も0.2~2.0kg/t (0.02-0.2%添加)と僅かです。イーストカルチャー、乳酸菌、枯草菌、オリゴ糖とβグルカン、各種消化酵素に有機ミネラル…、これまでに家畜の飼料に応用されてきた様々な技術がマルチモジュラーシステムとして体系化された製品が**マイクロボンド**です。**マイクロボンド**は米国ノースカロライナ州立大学マイコトキシン研究チームの獣医学部ジョフリー・スミス教授の推奨製品で先進的なあなたの農場生産に大きく貢献することをお約束します。

Think positively and watch your dreams come true

プラス思考で夢を実現させよう



株式会社 **ニスコ**

〒025-0001 岩手県花巻市天下田158-5

Phone 0198-22-3978 FAX 0198-24-4776

E-mail : nyscoltd@coral.ocn.ne.jp Home Page <http://www.nyscoltd.co.jp>